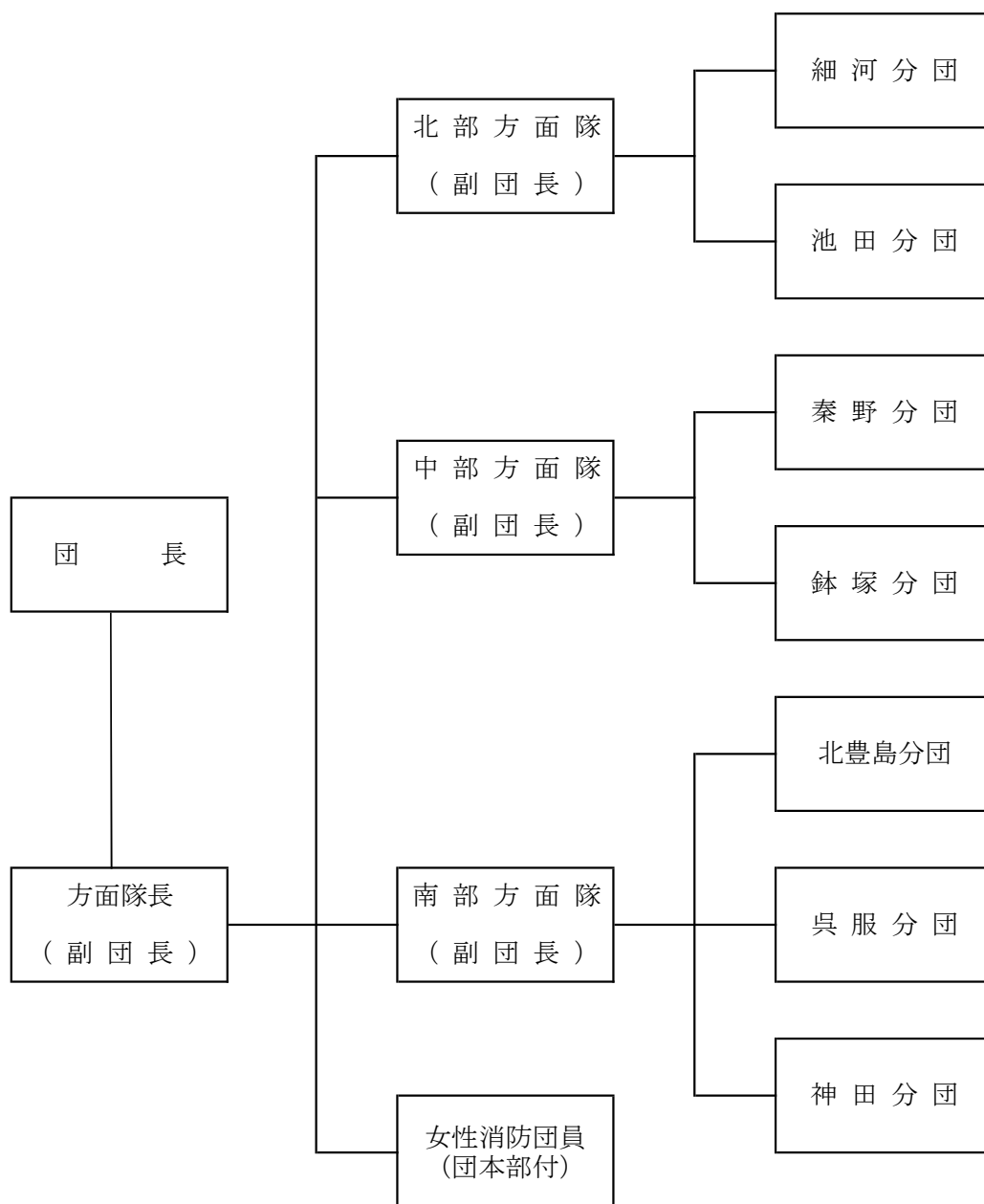


消防団編



消 防 団 組 織



消 防 団 の 沿 革

郷土の防災に挺身する消防団の歴史は遠く江戸時代に端を発し、当時雲龍水龍吐水を備え消防活動を行っていた。

明治10年		腕用ポンプ1台購入配備（池田村）
明治22年	4月	町制実施により池田町消防組を結成
明治27年	11月	消防組規則公布により公設池田町消防組を設置
明治30年	6月	腕用ポンプ1台購入配備
明治43年	8月	蒸気ポンプ1台購入配備
大正8年	5月	手曳ガソリンポンプ2台購入配備
大正12年	5月	手曳ガソリンポンプ1台、三輪ポンプ自動車購入配備
昭和10年	8月	ダッチブラザーズ500ガロン消防自動車1台購入配備
昭和14年	10月	警防団令公布により池田市警防団と改称 （人員800人、自動車5台、三輪1台、手曳1台）
昭和16年	9月	消防車2台購入、呉服分団、秦野分団に配備
昭和22年	8月	消防団令の公布により警防団を廃し、池田市消防団を結成発足 （団員定数150人、5ヶ分団）
昭和25年		中型消防ポンプ自動車2台購入、細河分団、北豊島分団に配備
昭和26年		細河分団車庫兼詰所46.2㎡建設
昭和27年		北豊島分団車庫兼詰所56.1㎡建設
昭和29年	4月1日	消防団員定数150名を180名に条例改正
昭和31年	12月31日	細河分団員、星野、吉野氏殉職
昭和36年	2月19日	消防団装備強化のため消防ポンプ自動車1台購入、池田分団に配置
昭和37年	2月22日	消防ポンプ自動車1台購入、呉服分団に配置
昭和42年	11月15日	消防ポンプ自動車1台購入、北豊島分団（神田）に配置
昭和44年	10月9日	消防ポンプ自動車1台購入、細河分団に配置
昭和45年	10月17日	消防ポンプ自動車1台購入、秦野分団（鉢塚）に配置
昭和46年	8月25日	小型動力ポンプ1台購入、細河分団に配置
昭和47年	10月6日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、北豊島分団に配置
昭和49年	8月23日	消防団機械整備強化のため消防ポンプ自動車1台購入、池田分団に配置
昭和50年	8月5日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、呉服分団に配置
昭和53年	9月6日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、秦野分団に配置
昭和53年	12月10日	池田分団車庫詰所改築
昭和54年	9月26日	小型動力ポンプ3台購入、呉服分団、秦野分団（鉢塚）、北豊島分団（神田）に配置
昭和55年	8月20日	小型動力ポンプ3台購入、北豊島分団、秦野分団、池田分団に配置
昭和56年	4月1日	組織の改正を行い3方面隊7分団とする
昭和56年	12月22日	呉服分団車庫詰所70㎡建設移転

昭和57年11月 6日	消防ポンプ自動車B S I 型 1 台購入、北豊島分団に配置
昭和58年 6月 7日	北豊島分団詰所新築
昭和59年 5月24日	トランシーバー 1 5 基購入、団本部 1 基、7 分団各 2 基配置
昭和59年 7月29日	秦野分団車庫詰所改築
昭和60年10月 3日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、細河分団に配置
昭和62年10月14日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、鉢塚分団に配置
平成 元年 9月30日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、神田分団に配置
平成 元年10月 1日	車載用受令機 7 台購入、各分団車両に配置
平成 元年12月10日	細河分団車庫兼詰所 6 1. 1 7 m ² 建替
平成 2年11月14日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、池田分団に配置
平成 2年12月 9日	秦野分団車庫兼詰所 8 2. 5 9 m ² 建替
平成 2年12月16日	神田分団車庫兼詰所 7 0. 7 8 m ² 建替
平成 4年 7月31日	広報車（普通自動車） 1 台日本消防協会より寄贈があり団本部に配置
平成 4年 9月 9日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台日本損害保険協会より寄贈があり秦野分団に配置
平成 4年10月12日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、呉服分団に配置
平成 5年 8月13日	高感度トランシーバー 1 5 基購入、団本部 1 基、7 分団各 2 基配置
平成 7年 3月29日	各分団車庫詰所にファクシミリを配置（4 月 1 日運用開始）
平成 8年11月18日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、北豊島分団に配置
平成11年 5月28日	池田市地域防災計画に基づき池田市地域防災無線機 1 5 基を団本部 1 基、7 分団各 2 基配置し運用開始
平成12年 2月 9日	日本消防協会長より優良消防団表彰を受け表彰旗を受章
平成12年 7月10日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、細河分団に配置
平成12年 9月10日	細河分団車庫兼詰所 9 9. 6 1 m ² 移転新築
平成15年10月10日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、鉢塚分団に配置
平成17年10月15日	小型動力ポンプ 3 台購入、呉服、神田、鉢塚分団に配置
平成17年10月30日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、神田分団に配置
平成18年10月21日	小型動力ポンプ 3 台購入、池田、北豊島、秦野分団に配置
平成18年11月 2日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、池田分団に配置
平成19年 2月 8日	日本消防協会長より優良消防団表彰を受け竿頭綬を受章
平成20年 2月15日	指揮・広報車（普通自動車ワンボックス型） 1 台日本消防協会より寄贈があり団本部に配置
平成20年 9月 5日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、秦野分団に配置
平成20年11月25日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、呉服分団に配置
平成21年10月 1日	池田市地域防災無線機 1 5 基をデジタル MCA 無線機に更新
平成24年 9月11日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、北豊島分団に配置
平成25年 9月 4日	消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台購入、細河分団に配置
平成27年 3月23日	小型動力ポンプ 1 台栗田トシ子氏より寄贈があり細河分団に配置
平成29年 9月26日	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車C D－I 型 1 台、総務省より無償貸与があり鉢塚分団に配置

令和	2年	4月	1日	北豊島分団車庫兼詰所299.92㎡移転新築
令和	4年	4月	1日	消防団員定数180名を200名に条例改正
令和	4年	4月	1日	女性消防団員創設（団本部付）
令和	6年	4月	18日	総務大臣より消防団地域貢献表彰を受章
令和	7年	3月	15日	大阪府消防協会会長より優良消防団表彰を受け表彰旗を受章

消 防 団 員

(1) 現在員数

(令和8年4月1日)

分団別	階級別	団 長	副団長	分団長	副 団 分 長	部 長	班 長	団 員	計
本 部		1	4				3	17	25
池 田				1	1	4	6	13	25
呉 服				1	1	4	6	13	25
北 豊 島				1	1	4	6	5	17
秦 野				1	1	4	6	13	25
細 河				1	1	4	6	13	25
神 田				1	1	4	6	13	25
鉢 塚				1	1	4	6	13	25
計		1	4	7	7	28	45	100	192

(2) 階級別定員・実員数

(令和8年4月1日)

定員・実員	階級別	団 長	副団長	分団長	副 団 分 長	部 長	班 長	団 員	計
定 員		←			200			→	200
実 員		1	4	7	7	28	45	100	192

(3) 階級別在職年数

(令和8年4月1日)

年数別	階級別	団 長	副団長	分団長	副 団 分 長	部 長	班 長	団 員	計
1 年 未 満								6	6
1 年 以 上 5 年 未 満							3	46	49
5 年 以 上 10 年 未 満							6	21	27
10 年 以 上 15 年 未 満				1	1	5	18	15	40
15 年 以 上 20 年 未 満				2	2	9	9	5	27
20 年 以 上 25 年 未 満			1	1	3	5	4	2	16
25 年 以 上 30 年 未 満			1	3	1	6	3	1	15
30 年 以 上 35 年 未 満						1	1	3	5
3 5 年 以 上		1	2			2	1	1	7
計		1	4	7	7	28	45	100	192

(4) 年齢別団員数

(令和8年4月1日)

年 齢	20才 未満	20才～ 25才	26才～ 30才	31才～ 35才	36才～ 40才	41才～ 45才	46才～ 50才	51才～ 55才	56才 以上	平均 年齢
団員数	1	4	5	13	16	34	46	38	35	47

消防団員表彰状況

表彰には国が行う叙位、叙勲、褒章のほかに消防表彰規程に基づく各種の表彰があり大阪府、大阪府消防協会、池田市においても毎年該当者について、定期的に表彰を行っている。

年 度		令 和 元年度	令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令 和 7年度
種 類								
消 防 庁 長 官		1	1		1	1		1
知 事	勤 続 功 労 章	1	1	1	1	1	1	1
	功 労 章	2	3	3	3	2	3	3
日 本 消 防 協 会		4	5	2	4		2	3
大 消 防 協 会 府 長	功 績 章		1	1	1	1		1
	永 年 勤 続 章	7	3	3	5	4	1	4
	勤 続 章	5	5	7	3	5	5	5
	勤 功 章	5	5	7	7	3	5	6
大 阪 府 消 防 協 会 豊 能 支 部 長	精 勤 章	6	6	7	7	3	6	4
		2	2	2	2	8	2	2
池 田 市 長		5	5	5	5	5	6	7
消 防 団 長		7	6	7	6	3	6	4
計		45	43	45	45	36	37	41

消防団出動状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

出動別 月 別	火災等		訓 練		水 防		警 戒		会 議	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
4 月	1	13	22	246					10	16
5 月			57	420					2	2
6 月	2	6	50	341					3	11
7 月			55	435			8	70	8	13
8 月			23	210			6	46	2	13
9 月			24	224					1	5
10月			22	231			4	46	1	5
11月			29	273			1	8		14
12月			17	170			32	364	2	2
1 月			33	274			3	30		
2 月			21	267					2	8
3 月			22	233					24	42
計	3	19	375	3,324			54	564	55	131

総出動延人員： 4,038 名

主たる消防団行事及び訓練等実施状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

行 事 及 び 教 養 訓 練 の 名 称	実施時期	参加人員 (延)
分 団 長 会 議 等	年 4 回	131人
定期訓練及び機械器具の点検	毎月 2 回	2,689人
ポンプ車操法訓練	自 令和 7年 5月16日 至 令和 7年 8月 3日	488人
消防団員教育訓練(基礎教育訓練)	令和 7年 5月18日 令和 7年 6月 8日	37人
石 橋 ま つ り 警 備	令和 7年 7月26日 令和 7年 7月27日	42人
豊能地区支部消防総合訓練大会	令和 7年 8月 3日	62人
猪 名 川 花 火 大 会 警 備	隔年開催(次回8年度)	
愛宕神社護摩供養警備	令和 7年 8月24日	2人
がんがら火及び大文字等の消防特別警戒	令和 7年 8月24日	35人
大 阪 府 消 防 大 会	令和 7年 9月 4日	7人
全国女性消防団員活性化大会	令和 7年11月13日	4人
消防団員教育訓練(幹部科)初級指導課程	令和 7年10月 5日	0人
消防団員教育訓練(幹部科)現場指揮課程	令和 7年10月19日 令和 7年11月 9日	1人
消防団員教育訓練(幹部科)分団指揮課程	令和 8年 1月25日	1人
歳 末 特 別 警 戒 激 励 式	令和 7年12月26日	12人
歳 末 特 別 警 戒	自 令和 7年12月27日 至 令和 7年12月29日	360人
消 防 出 初 式	令和 8年 1月11日	136人
消防団員教育訓練(機関科)ポンプ車課程	令和 7年11月30日	2人
消 防 警 戒 (天満宮とんど)	令和 8年 1月12日	21人
消 防 警 戒 (尊鉢厄神大祭)	令和 8年 1月19日	8人
合 計		4,038人

消 防 団 機 械 現 況

(令和8年4月1日)

項目 配置	種 別	社 名	年 式	エンジン 排気量(CC)	ポンプ
					級 別
本 部	乗 用 車 (1)	ト ヨ タ	2021年	1,986	
池 田 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2006年	4,000	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2006年	617	B 3
呉 服 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2008年	4,009	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2005年	617	B 3
北 豊 島 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2012年	4,000	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2006年	617	B 3
秦 野 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2008年	4,009	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2006年	617	B 3
細 河 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2013年	4,000	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2015年	526	B 3
神 田 分 団	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2005年	4,000	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2005年	617	B 3
鉢 塚 分 団	普 通 ポ ン プ 車	い す ゞ	2017年	2,999	A 2
	小 型 動 力 ポ ン プ	ト ー ハ ツ	2005年	617	B 3